

産学連携学会メールニュース
J-SIP Mail
発行：産学連携学会（編集 WG）
第 1412 号 <2025.1.24>

[[[ヘッドライン]]]

【産学連携学会】

学会誌『産学連携学』第 21 巻第 1 号を発刊いたしました

ログイン URL : <https://sangaku.actibookone.com/auth/login>

本学会では学術誌委員会が中心となり、学会誌「産学連携学」を年に 2 回発行しております。

このたび、第 21 巻第 1 号が完成し、電子書籍として発行の運びとなりました。

特集のテーマは、編集上の都合で 2 回に分けた前号の特集「九州・沖縄、

One-Team で展開する農学分野の課題解決～農林水産物の輸出促進プラットフォーム@九州・沖縄の取組～」の続きです。農林水産省『「知」の集積と活用の場』の中で産学連携実務者が行っている特色ある活動を取り上げています（特集担当委員：殿岡 裕樹）。合わせて、研究ノート 3 報、事例報告 2 報、産学連携学会第 22 回大会（愛媛大会）の開催報告を掲載しています。

【学術誌委員会からのお願い】

「産学連携学」は、特集記事と投稿論文等から成り立っています。

特集記事はその時々で重要と思われるテーマを学術誌委員会で設定し、同テーマに関係の深い専門家に寄稿を依頼しています。

テーマの設定は学術誌委員会での検討によりますが、会員からのリクエストも受け付けています。

もし希望するテーマがあれば、学術誌委員会までお寄せください。

投稿論文等は査読付きの区分（論文、研究ノート、事例研究）と査読なしの区分（事例報告、政策紹介、解説、書評、調査報告など）があります。

査読ありの場合、投稿された論文の分野に近い専門家に査読を依頼するため、大幅な修正、区分の変更などを求める厳しい評価が返ってくるケースもあると思います。お仕事との兼ね合いはあると思いますが、「産学連携学」の発展に向けた研さんの場として、何より学会内外への情報発信の場として、ぜひ挑戦を続けていただければ幸いです。

会員の皆様におかれましては、学術誌委員会から査読の依頼があった際には、
ぜひご助力を賜りたくあらためてお願い申し上げます。

(学術誌委員長 殿岡 裕樹)

当メールニュースではイベントのお知らせや公募情報等、
産学連携に関する情報をお流しいたします。
会員の皆様への情報の配信をご希望の方は、
産学連携学会事務局 (j-sangaku@j-sip.org) までご連絡ください。